研修部 令和3年度 活動計画

1 活動の重点

学習指導要領の理念を実現し、地域の信頼を得る創造的な学校経営を展開するために、校長会研究 集会を開催して研修を深める。また、教育課程、生徒指導、同和教育の3委員会を設け、調査研究活動や研修活動に取り組み、校長の資質・指導力の向上を図る。

2 活動の概要

(1) 校長会研究集会

ア 研究主題について

新潟県小学校長会研究集会の主題については、全国連合小学校長会の研究主題を受け、当県における教育課題を踏まえて設定してきた。令和2年度に全国連合小学校長会の研究主題が改められたことを受け、当校長会研究集会の研究主題を新たなものにした。

全連小研究主題 (令和2年度から)

自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進

県小学校長会研究集会主題(令和2年度から)

未来を拓く知を磨き ともに生きる子どもを育てる学校経営

イ 研究集会の趣旨

我が国は、なかなか終息が見通せない新型コロナウイルス禍や想定を超えた自然災害の増加、少子高齢化や絶え間ない技術革新等による社会構造等の急速な変化が進み、将来に向けての予測が困難な時代となっている。

このような急激な社会の変化の中では、一人一人が自らの能力や可能性を信じ、学習したことを生活や社会の中での課題解決に生かすことのできる力が求められる。また、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会変化を乗り越えていく生き抜く力の育成も求められる。子どもたちには持続可能な社会の担い手として、個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出していくことが期待される。

こうした状況を踏まえ、令和2年度より新しくなった全国連合小学校長会の研究主題「自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」を受け、県小学校長会研究集会の主題を「未来を拓く知を磨き ともに生きる子どもを育てる学校経営」とした。

未来を切り拓く知を身に付け、他者を尊重し、異なる価値観をもつ多様な人々と協働して粘り強く問題解決に立ち向かい豊かな社会を創り出すことのできる子どもの育成を目指すものである。

このような子どもを育てる学校の実現は、校長のビジョンと経営力によるところが大きい。時代の大きな変化を踏まえ、新しい時代に主体的に生き抜く子どもの育成という観点から、校長は創造性豊かに学校経営を推進していかなければならない。

そのためには、校長が鋭い先見性と豊かな創造性をもち、学校の実態に即した適切な教育課程の編成・ 実施・評価・改善を行うことが不可欠であり、学校教育の成果を具体的な子どもの姿で示すことで、地域 や保護者の信頼を得るようにしなければならない。また、校長は自らの使命を自覚し、リーダーシップを発揮 して教職員の指導力を高め、活力溢れる学校づくりを進めるなど、組織の総力を挙げて教育課題解決に 向けて努力していかなくてはならない。 研究集会ではこうした日常の取組を「校長が主語」のレポートに凝縮して持ち寄り、活発に協議し、創意と活力に満ちた特色ある学校の創造に向け学び合い、磨き合うことが重要である。これは、新潟県県小学校長会が大切に受け継いできた伝統であり、今後も大切に継承すべき営みである。

ウ 基本方針

- (ア) 主題に基づく各自の実践を「校長が主語」のレポート(A4サイズ1枚)にし、持ち寄り討議し合う。 その際、校長として「学校経営」の視点を明確にした内容にする。
- (イ) 分科会は全連小京都大会(令和2年度)の構成を基本とするが、一部統合するなどして10分科会に 再編する。
- (ウ) 分科会は、必要に応じて分散会を設け、少人数での協議ができるようにする。
- (エ) 分科会・分散会では、提案発表を受けて、話合いの柱を決定し、情報交換や協議を進めるなど、 運営を工夫する。

工 分科会

領域	分科会		研究課題	研究の視点			
I 学校 経営	1	1 経 営ビジョン	創意と活力に満ちた 学校経営ビジョンの策 定と推進	(1)未来を見据えた魅力ある学校経営ビジョンの策定 (2)学校経営ビジョンに基づく創意と活力に満ちた 学校経営の推進			
		2組織・運営	学校経営ビジョンの実 現に向けた活力ある 組織づくりと学校運営	(1)学校経営ビジョンの実現に向けた活力ある組織 づくり (2)組織を積極的に運営していくための具体的方 策の推進			
	2	3評価・改善	学校教育の充実を図 るための評価・改善 の推進	(1)学校経営の組織的かつ継続的な改善に向けた 学校評価の充実 (2)教職員の資質・能力の向上に向けた人事評 価の工夫			
教育課程	3	4 知性·創造性	知性・創造性を育む カリキュラム・マネジ メントの推進	(1)主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の推進 (2)知性・創造性を育む教育課程の編成・実施・評価・改善			
	4	5 豊かな人間性	豊かな人間性を育む カリキュラム・マネジ メントの推進	(1)豊かな心を育む道徳教育の推進 (2)よりよい社会を創る人権教育の推進			
	5	6 健 や か な 体	健やかな体を育むカリ キュラム・マネジメ ントの推進	(1)生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する 資質や能力を育てる教育活動の推進 (2)健康で安全な生活を営む実践力を育てる教育 活動の推進			
Ⅱ 指導・	6	7研究・研修	学校の教育力を向上させる研究・研修の推 進	(1)学び続ける教職員を目指し、資質・能力の向上を図る研究・研修体制の充実 (2)「チームとしての学校」への参画意識を高める研修の推進			
育成		8リーダー 育成	これからの学校を担う リーダーの育成	(1)学校教育への確かな展望をもち、優れた実践力と応用力のあるミドルリーダーの育成 (2)社会の変化に主体的にかかわり、自ら学び続ける管理職人材の育成			
IV 危機 管理	7	9学校安全	命を守る安全教育・ 防災教育の推進	(1)自ら判断し行動できる子どもを育てる安全教育・ 防災教育の推進 (2)家庭や地域社会との連携・協働を図った組織 的・計画的な防災教育に関わる取組の推進			
	8	10 危 機 対 応	様々な危機への対応 未然防止の体制づくり	(1)いじめ・不登校等への適切な対応と体制づくり (2)教職員の高い危機意識並びに対応能力の育成と未然防止に向けた組織体制づくり			

V 教育 課題	9	11自立と共生	自立と共生の実現に 向けた教育活動の推 進	(1)子どもの自立や社会参加に向けた特別支援教育の推進 (2)共に生きる社会の実現に向けた資質・能力を育む教育の推進		
	10	社会形成能力を育む 教育活動の推進		(1)社会の発展に貢献する資質・能力・態度を育む教育活動の推進 (2)地域に愛着をもち、よりよい社会の創造に貢献する力を育むキャリア教育の推進		
	10	13 社会との連携・協働	家庭や地域等との連携・協働と学校段階等間の接続・連携の 推進	(1)家庭や地域等と連携・協働を深め, 創意ある 教育活動を展開する学校づくりの推進 (2)成長の連続性を生かした学校段階等間の接 続・連携の推進		

オ期日・会場

(ア) 期 日 10月5日(火)

(イ) 会場 リージョンプラザ上越

全体会・・・リージョンプラザ・コンサートホール (477席) 分科会・・・リージョンプラザ・インドアスタジアム

〔参考〕研究集会の開催地域について 平成24年9月1日県小本部会決定 〔上越〕 〔中越〕 〔下越〕 平成 29 年度 上越 十日町・中魚 村上・岩船 30 年度 {全県} 長岡・三島 令和元年度 三条 柏崎・刈羽 佐渡 2年度 糸魚川 南魚沼郡市 五泉・東蒲・阿賀野 3年度 {全県} 上越 4年度 妙高 燕・西蒲 新発田・北蒲・胎内 5年度 上越 加茂・南蒲・見附 佐渡 6年度 |全県プレ| 新潟 7年度 |全県関ブロ| 新潟 ※ 政令指定都市研究協議会新潟大会(令和4年度)

力 日 程

12:55 13:25		:25	14:55 15:15			16:45				
	受	付	全体会		移	動	分科会·分散会	閉	会	
			開会式	講演会			10分科会・20分散会			

(2) 第73回関東甲信越地区校長研究協議会栃木大会への参加 → 書面開催に変更

期 日 令和3年6月17日(木)~18日(金)

会 場 栃木県総合文化センター 他

参加者 新潟県から32名 各郡市・政令指定都市校長会へ割り当て

(3) 第73回全国連合小学校長会研究協議会石川大会への参加

期 日 令和3年10月14日(木)~10月15日(金)

会 場 金沢市 石川県立音楽堂 他

参加者 新潟県から22名 各郡市・政令指定都市校長会へ割り当て

(4) 委員会活動

教育課程委員会,生徒指導委員会,同和教育委員会の3委員会による調査研究活動の実施と関係諸会合への参加・研修活動を行う。

ア 教育課程委員会

教育課程の実施状況や教育課程にかかわる諸問題について調査研究を行う。県内全小学校(義務教育学校前期,大学附属学校を含む)を対象にアンケート調査を実施し、全国連合小学校長会の調査と比較することで「自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進」の現状と課題を分析し、各校の教育課題の改善・充実のための資料提供を行う。

イ 生徒指導委員会

教員の生徒指導力向上と児童のネットトラブルに対する効果的な取組について、県内各小学校を対象に調査を実施する。生徒指導力では全国と比較しながら考察をし、ネットトラブルでは取り組んだ方策の有効性について分析を行い、学校運営改善の方途として資料を提供する。

ウ 同和教育委員会

新潟県同和教育研究協議会の各種委員の選出及び諸会議への出席,各種研究集会への参加態勢の確立などを通して,同和教育推進の活動を行う。また,第72回全国人権・同和教育研究大会(兼新潟県同和教育研究集会),部落解放新潟県研究集会,「いのち・愛・人権」展等,同和教育にかかわる各種大会に参加して研修を進める。

(5) 研修部会の開催

ア 第1回 期 日 令和3年5月12日(水)

会 場 糸魚川(青海総合文化会館)

内 容 令和3年度度研修部活動計画の概要決定

イ 第2回 期 日 令和3年11月12日金14:00~16:00(仮)

会 場 未定

内 容 研修部の活動のまとめ

参加者 研修部担当理事, 3委員会正副委員長, 計14名